

日時 平成27年6月30日
午後7時～9時
場所 女良生活改善センター





コンビニ交付の実施に向けて

コンビニ交付サービスの検討に至った背景

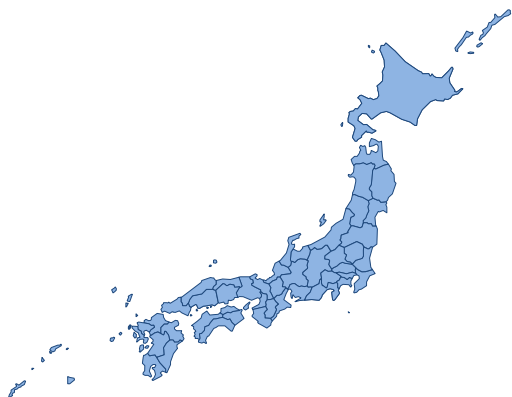
- 平成27年度中に交付機とサーバーの更新が必要となる
- 住民ニーズの高まり
 - ・サービス拠点拡大の要望
- 行政サービスに対するニーズの多様化
 - ・銀行ATMの夜間休日利用、コンビニATMの定着
- 行政手続きの簡素化
 - ・申請手続きの簡素化への要望



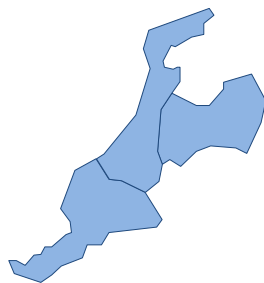
コンビニ交付サービス実施による課題解決

導入効果① 発行拠点数の拡大

コンビニ交付サービスの最大の特徴は、
証明書交付拠点数が格段にふえます。



全国約46,000店舗



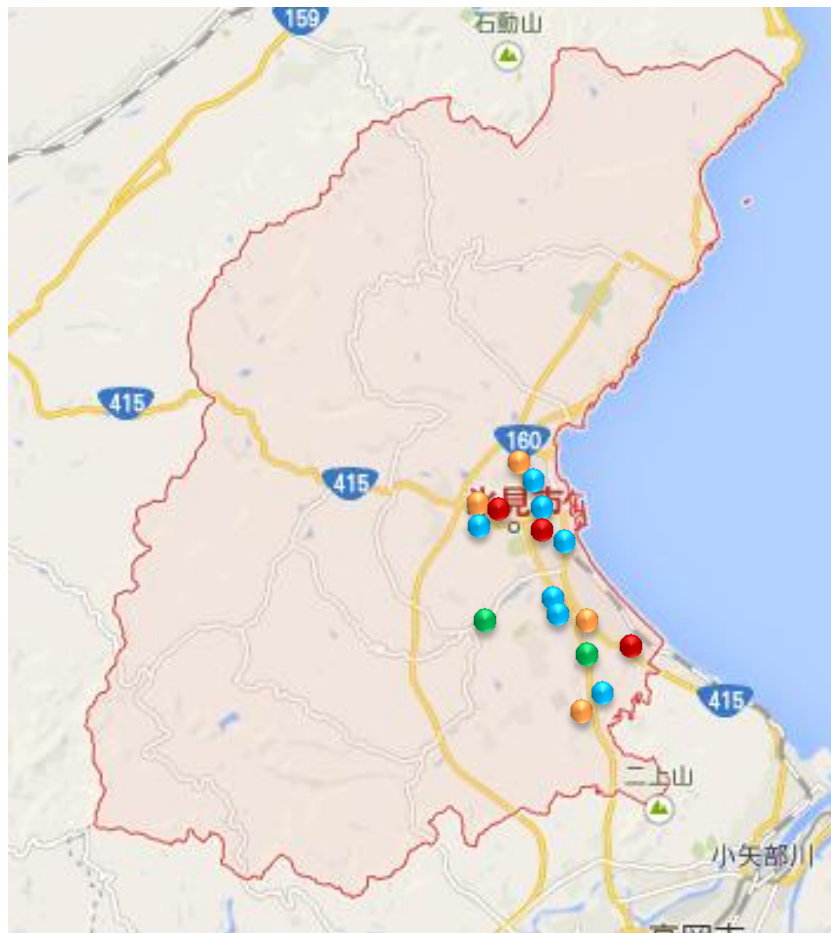
北陸三県約1,300店舗



富山県内約460店舗

導入効果① 発行拠点数の拡大

氷見市内のコンビニは合計16店舗
証明書を取得できる場所が大幅に拡大



- セブンイレブン（4店舗）
- ローソン（7店舗）
- ファミリーマート（2店舗）
- サークルKサンクス（3店舗）

導入効果② サービス提供時間の拡大

コンビニ交付サービス実施により
さらに提供時間を拡大します。

現在の氷見市証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
証明書自動交付機	09:00-19:00	08:30-17:00

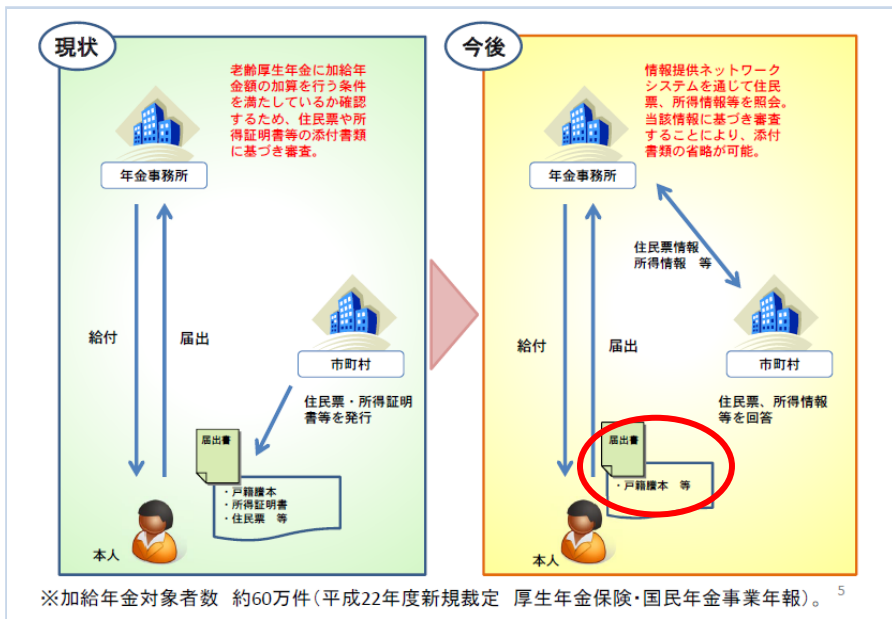
コンビニ交付サービス導入後の証明書交付提供時間

	平日	土日・祝日
市民課窓口	08:30-17:15	-
全国各コンビニ店舗	06:30-23:00	06:30-23:00

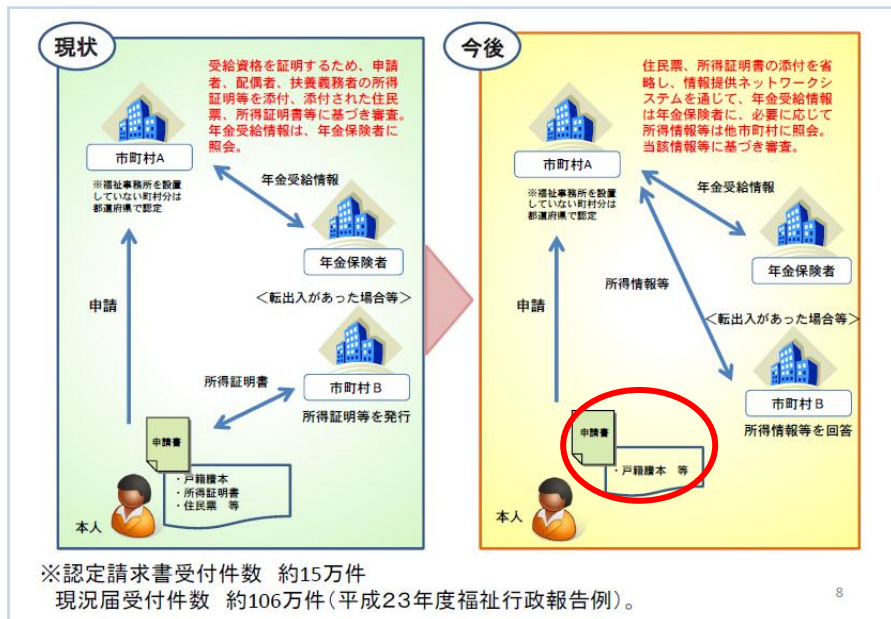
導入効果③ 戸籍証明書の対応

将来的には住民の証明書取得の機会は減るが、印鑑証明や戸籍証明は必要

老齢厚生年金の加給年金額の加算に関する手続



児童扶養手当の認定申請



平成25年3月21日 厚生労働省政策統括官付 情報政策担当参事官室
「番号法案に係る厚生労働省関係の業務について」より引用

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 出席者紹介
- 4 昨年のふれあいトーク報告
質疑応答
- 5 地区の事業概要
- 6 地方創生について
- 7 意見交換
- 8 閉会あいさつ

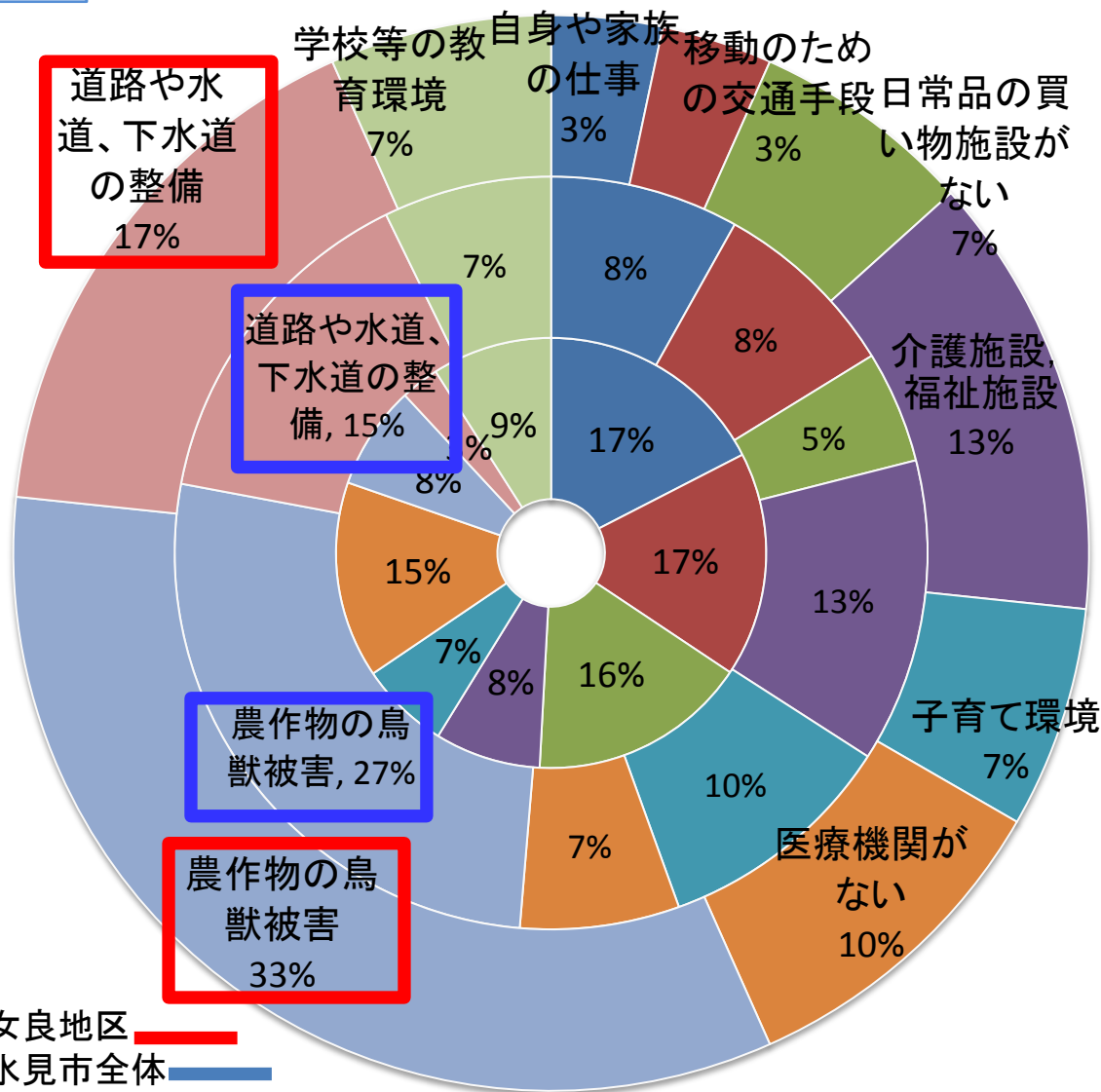
市長あいさつ

役職	氏名	所管部署等
氷見市長	本川祐治郎	
市長政策・都市経営 戦略部長	高橋 正明	秘書・市民情報課 地方創生と自治への未来対話推進課 芸術文化マネジメント室 スポーツ文化マネジメント室 地域防災室
防災・危機管理監	濱井 博文	自然災害や原子力災害対応
市民部長	山口 優	福祉介護課 子育て支援課 市民課 健康課 病院事業管理室 環境・交通防犯課
建設農林水産部長	福嶋 雅範	建設課 上下水道課 農林畜産課 いのしし等鳥獣害対策室 水産振興課
地域担当職員	出戸 勝教	(所属) 地方創生と自治への未来対話推進課
地域担当職員	田中 健太	(所属) 会計課

昨年のふれあいトーク報告

困り事

日々の生活の中で、不便なことや不安に思ったこと、
困ったことはありませんか？



外円: 女良地区
中円: 氷見市全体
内円: 全国農漁村調査結果

対応済

25/1012-長坂の大つばき
25/2005-平の山のため池災害
201-防災無線が聞きにくい
204-防災無線にカラスが巣づくり
207-イノシシ対策（継続）
209-消防団員の人員確保

27年度内

202-避難場所が危険地域にある
205-ハード整備の優先順位

可能

28年度以降

25/1011-学校統合校を避難場所に

未定

25/1001-高坂山の道整備
206-豪雨に対応する用水路整備
208-虻が島への渡船

参考意見

203-避難時の判断

長坂の大つばき
着工前



着工後



平の山ため池
着工前



着工後



今年度の対策

○ハード

電気柵、ワイヤーメッシュによる侵入防止総延長 約400km
捕獲檻17基増設予定 総数109基

○ソフト（環境づくり）

エサや隠れ場所対策等の周知用チラシ、パトロール強化

捕獲数

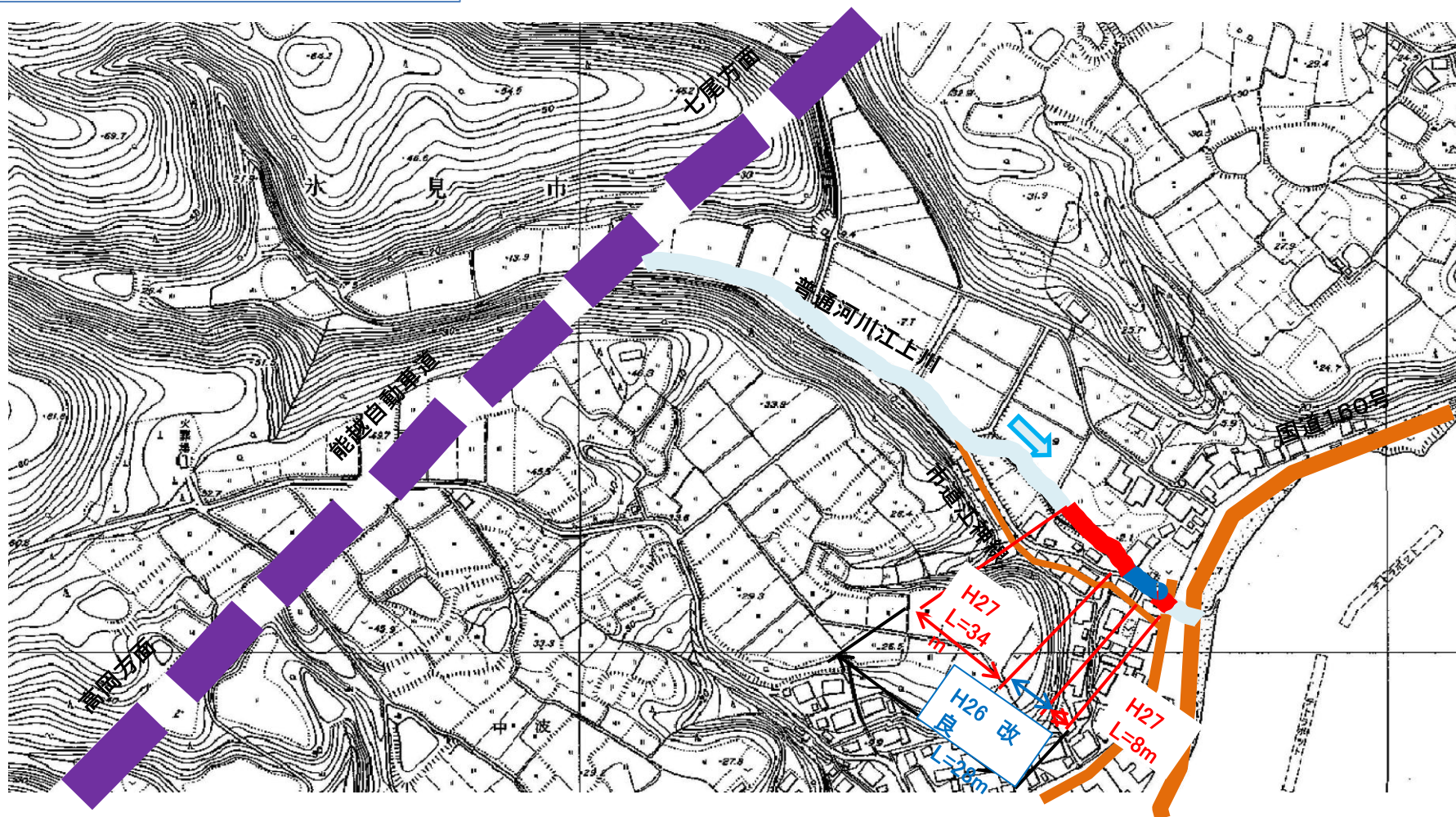
○**72頭**（6/29現在、同時期22頭） 昨年412頭

いのしし等鳥獣対策課 30－7088

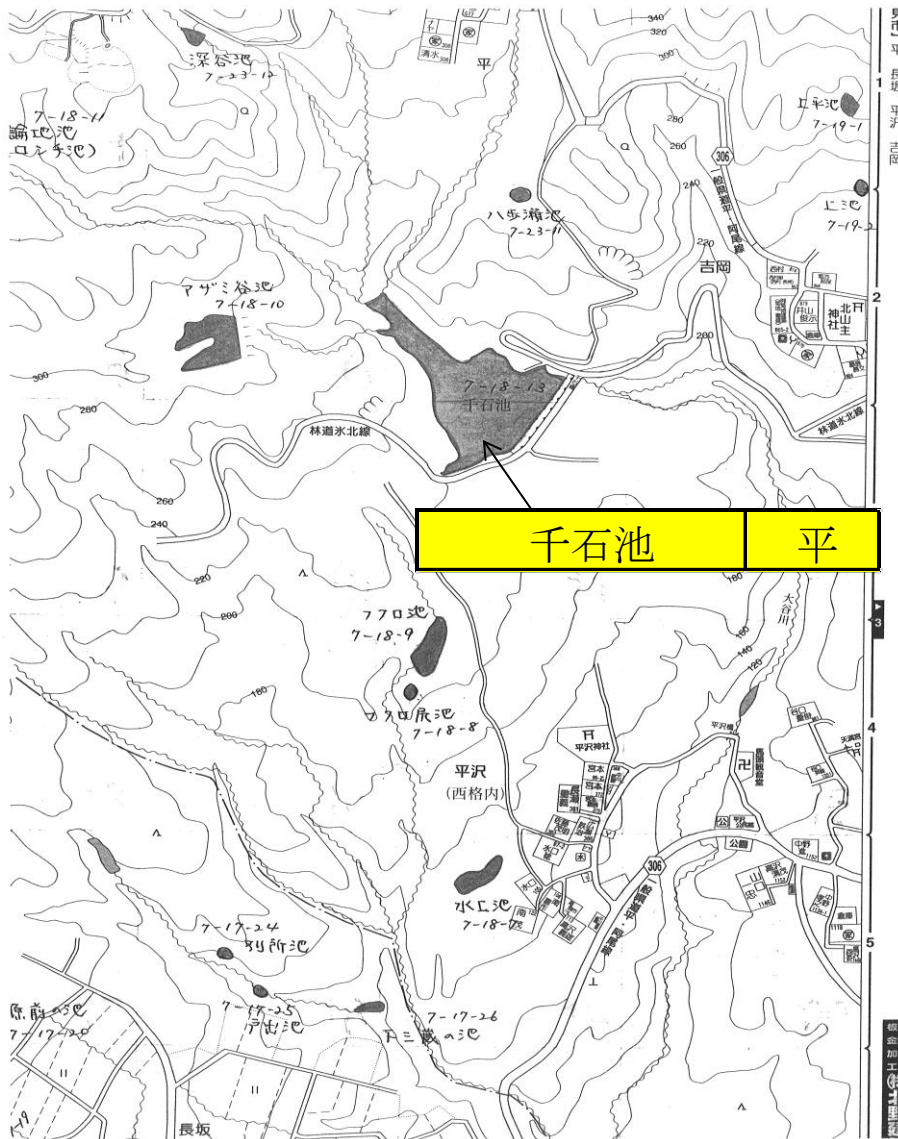
女良地区の事業概要

実施 年度	工 事 名	工事場所	契約(予定)日	完成(予定)日	契約金額または予 算額
H27	土田川河川改修工事測量設計委託	姿	8月予定		3,800,000
H27	江上川河川改修工事	中波	9月予定		18,600,000
H27	ため池(1区池)耐震性調査	中波	9月予定		6,000,000
H27	ため池(宮田池)整備事業費負担金 (県営事業)	平沢	H26から継続		2,000,000
H27	千石水路復旧工事に伴う土質調査委託	吉岡	H27.5.29	H27.7.3	183,600
H27	林道氷北線改良工事	吉岡	9月予定		3,000,000
H27	ため池(千石池)耐震性調査	平	9月予定		6,000,000
				H27計	39,583,600

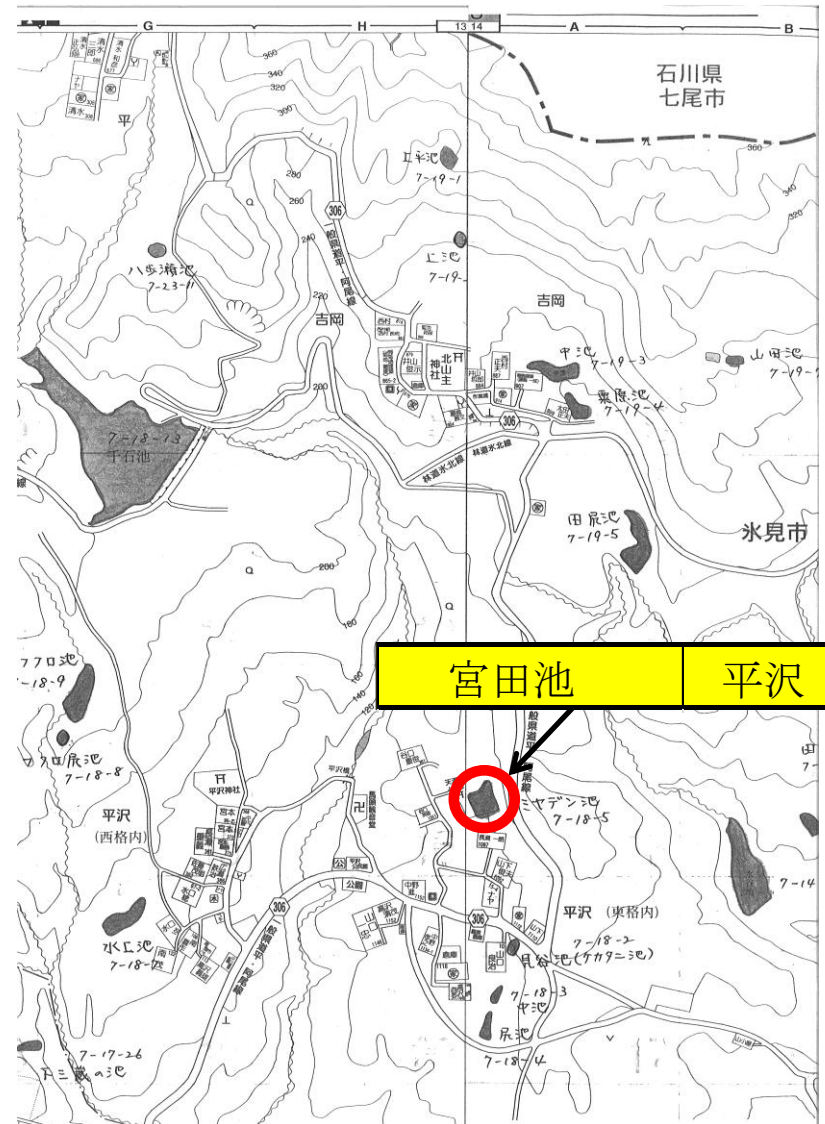
江田川河川改修工事



ため池(1区池)耐震性調査



ため池(宮田池)整備事業



実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	安心生活創造事業	高齢者世帯等の見守り及び買い物支援等を行い、住み慣れた地域で安心して生活できる体制を整備する。	300,000	福祉介護課	
H27	健康ウォーキング	地区一般住民を対象としたウォーキング教室を実施	5,000	健康課	6月28日 あやまガーデン
H27	健康教室	地域の健康づくりの意識を高め実践に結びつけることを目的に講義、実践を行なう。	職員対応	健康課	12月13日 ヘルシー食生活講座
H27	らくらくメニュー教室	乳幼児とその保護者を対象に教室を開催し、食習慣の改善を図る	7,000	健康課	11月26日
H27	介護予防 高齢者レクリエーション教室	高齢者を対象にレクリエーション教室を実施することで、閉じこもりや要介護状態になることを予防する。	2,100	健康課	姿 中田
H27	介護予防 高齢者元気ハツラツ教室	高齢者がいきいきと自立して生活できるように、食生活改善に関する知識の普及を図る。	3,000	健康課	中田
H27	多面的機能支払交付金	農地保全活動(草刈り・泥上げ等) 農村環境保全活動(花壇の造成等)へ 支援長坂(760,000)、平沢(177,600)、 平(54,000)	991,600	農林畜産課	

実施 年度	実施事業名	具体的な内容及び箇所	補助等金額 または予算額	担当課	備考
H27	中山間地域等直接支払	農業施設の整備(農道、水路等の補修)、営農活動(農業機械購入等)への支援長坂(3,961,944)、平沢(835,155)、姿(1,597,991)、中田(362,880)	6,757,970	農林畜産課	
H27	棚田オーナー事業	長坂地区(氷見市棚田保全推進会議)	350,000	農林畜産課	
H27	有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 中田 1件	18,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 脇 1件	37,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	有害鳥獣被害防止対策補助金	電気柵 姿 1件	19,000	いのしし等鳥獣害対策室	
H27	水産物供給基盤機能保全事業	女良漁港の長寿命化と更新コストの平準化の縮減を図るため機能保全計画を策定する	13,000,000	水産振興課	9月予定
H27	水路整備地域支援事業	平沢地区	500,000	建設課	9月予定
		H27計	21,990,670		

地方創生について

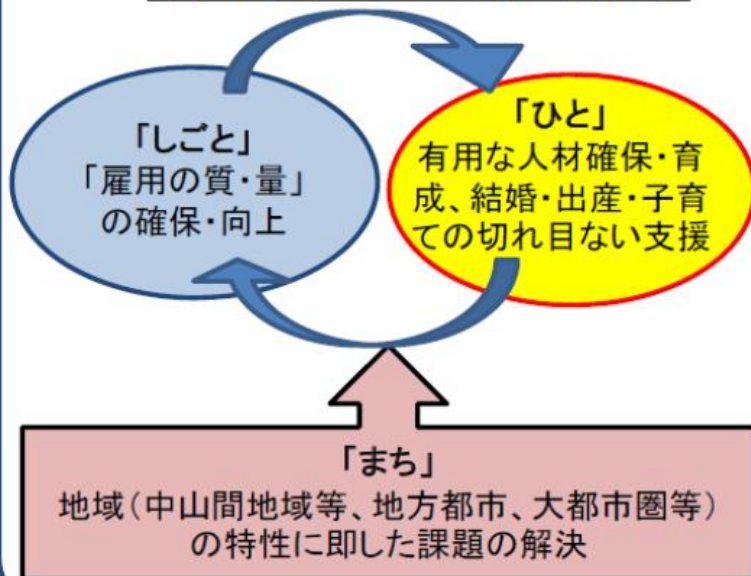
まち・ひと・しごと創生に関する基本的考え方

【基本的考え方】

【基本的視点】

- ①東京一極集中の歯止め
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望実現
- ③地域の特性に即して課題解決

「しごと」と「ひと」の好循環、
それを支える「まち」の活性化



【過去の政策検証】

- 「縦割り」構造
 - ・政策手法が似通い、施策の重複や小粒な事業の乱立
- 「全国一律の手法」
 - ・使用目的が縛られ、地域特性や主体性が考量されない
- 「バラマキ」
 - ・客観的な成果検証と運用の見直しメカニズムが不足
- 「表面的な」取組
 - ・対症療法的施策は構造的問題への対処に改善の余地
- 「短期的」な成果
 - ・短期間で変更・廃止を繰り返す施策が多い

【政策5原則】

- 自立性** 地方自治体・民間事業者・個人等の自立につながる
- 将来性** 地方が自主的かつ主体的に、夢を持って前向きに取り組むことを支援
- 地域性** 各地域は地方版総合戦略を策定、国は利用者の側から人的側面を含めた支援を実施
- 直接性** ひと・しごとの移転・創出やまちづくりを直接的に支援する施策を集中的に実施
- 結果重視** 短期・中長期の数値目標を設定し、政策効果を客観的な指標により検証、改善

「地方人口ビジョン」・「地方版総合戦略」の意義 —人口減少時代の新たな行政革新—

1. 地域の現状・将来に関するデータ分析—「分析企画」

- ・客観的データに基づく戦略策定
 - ・行政と地域住民の意識共有
- 「地方人口ビジョン」
「地域経済分析システム(RESAS)」

2. 「積極戦略」と「調整戦略」の同時対応—「複眼思考」

- ・「積極戦略」: 人口減少の歯止めのための戦略(人口流出防止、出生率向上)
- ・「調整戦略」: 人口減少に即した戦略(効果的・効率的な行政・まちづくり)

3. 地域の「産官学金労言」の参画—「調整結集」

- ・政策の「縦割り」を排除して、各分野の政策・事業・人材を結集
- ・幅広い各層(女性や若者、外部人材も)の意見汲み上げ、産業・学界・金融・労働・マスコミの参画
- ・「縦割り」の排除⇒各分野の政策・事業の「組み合わせ」

4. 「数値目標」の設定と5か年の「PDCAサイクル」の徹底—「成果重視」

- ・5年先の「数値目標(成果目標)」設定。その後、毎年効果検証、的確な政策見直し
- ・「予算重視」から「決算・成果重視」へ

5. 市町村間の連携—「広域連携」

- ・広域圏などで複数市町村が総合戦略を共同作成
- ・個別事業(広域観光、都市農村交流など)での市町村連携

「地方人口ビジョン」及び「地方版総合戦略」の策定プロセス

＜地方人口ビジョン＞

- 人口の現状分析
- 人口の将来展望

＜地方版総合戦略＞

- 基本目標(成果目標)
- KPI(重要業績評価指標)

- 各分野の施策

地方版総合戦略の策定

長期ビジョン【2060年まで】

総合戦略【2019年度までの5か年】

国

中長期展望

I 人口減少問題の克服

◎2060年に1億人程度の人口を確保

- ◆ 人口減少の歯止め
国民の希望が実現した場合の出生率
(国民希望出生率)=1.8
- ◆ 「東京一極集中」の是正

II 成長力の確保

◎2050年代に実質GDP
成長率1.5~2%程度維持

基本目標

地方における安定した雇用を創出する

- ◆ 若者雇用創出数(地方)
2020年までの5年間で30万人など

地方への新しいひとの流れをつくる

- ◆ 地方・東京圏の転出入均衡(2020年)
・地方→東京圏転入6万人減
・東京圏→地方転出4万人増など

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ◆ 結婚希望実績指標90%(2010年68%)
- ◆ 夫婦子ども数予定(2.12)実績指標95%(2010年93%)など

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

- ◆ 地域連携数など
- ※目標数値は地方版総合戦略を踏まえ設定

政策パッケージ

- 農林水産業の成長産業化 6次産業市場10兆円:就業者数5万人創出
- 訪日外国人旅行消費額3兆円へ(2013年1.4兆円):雇用者数8万人創出
- 地域の中核企業、中核企業候補1,000社支援:雇用者数8万人創出
- 地方移住の推進:年間移住あっせん件数11,000件
- 企業の地方拠点強化:拠点強化件数7,500件、雇用者数4万人増加
- 地方大学等活性化:自県大学進学者割合平均36%(2013年度32.9%)
- 若い世代の経済的安定:若者就業率78%(2013年度75.4%)
- 妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
:支援ニーズの高い妊産婦への支援実施100%
- ワーク・ライフ・バランス実現:男性の育児休業取得率13%(2013年2.03%)
- 「小さな拠点」の形成:「小さな拠点」形成数
- 定住自立圏の形成促進:協定締結等圏域数(140圏域)
- 既存ストックのマネジメント:中古・リフォーム市場規模20兆円(2010年10兆円)

地方人口ビジョン【2060年までを基本】

地方版総合戦略【2019年度までの5か年】

都道府県・市町村

中長期展望

I 人口の現状分析

- ・人口動向や将来人口推計の分析

II 人口の将来展望

- ・目指すべき将来の方向や
施策の方向性を踏まえた
人口の将来展望

基本目標と基本的方向

地方における安定した雇用を創出する

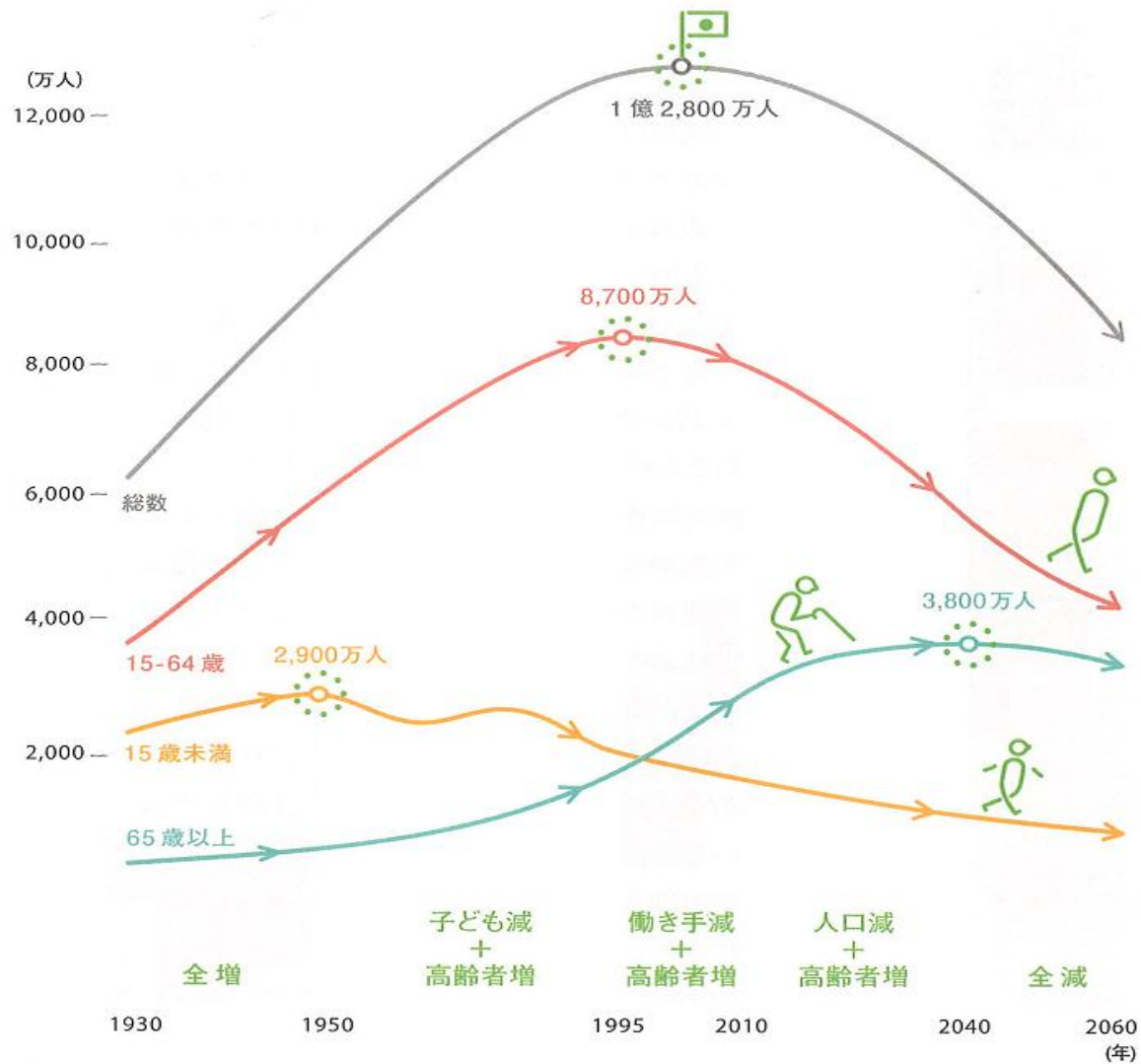
地方への新しいひとの流れをつくる

若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

具体的な施策※施策ごとに重要業績指標(KPI)を設定

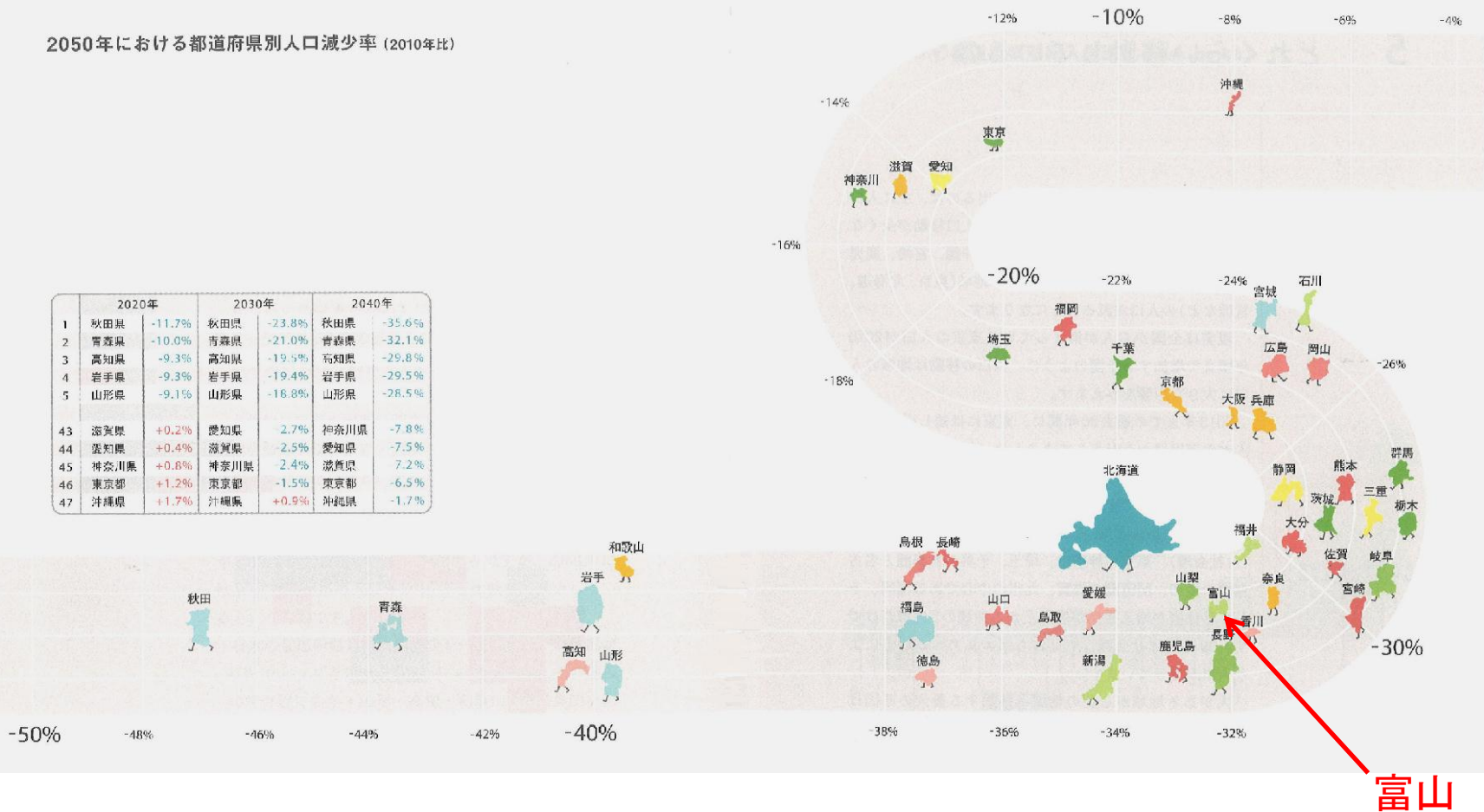
3 区分年代別人口の推移 (2012年1月推計)



出典：人口減少×デザイン 著 笥 裕介

2050年における都道府県別人口減少率（2010年比）

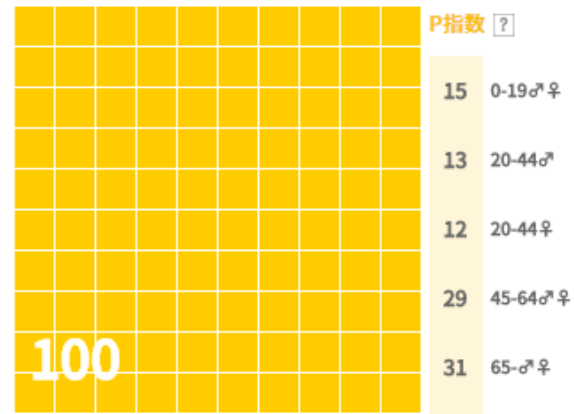
	2020年	2030年	2040年
1 秋田県	-11.7%	秋田県 -23.8%	秋田県 -35.6%
2 青森県	-10.0%	青森県 -21.0%	青森県 -32.1%
3 高知県	-9.3%	高知県 -19.5%	高知県 -29.8%
4 岩手県	-9.3%	岩手県 -19.4%	岩手県 -29.5%
5 山形県	-9.1%	山形県 -18.8%	山形県 -28.5%
43 滋賀県	+0.2%	滋賀県 -2.7%	神奈川県 -7.8%
44 滋賀県	+0.4%	滋賀県 -2.5%	愛知県 -7.5%
45 神奈川県	+0.6%	神奈川県 -2.4%	滋賀県 7.2%
46 東京都	+1.2%	東京都 -1.5%	東京都 -6.5%
47 沖縄県	+1.7%	沖縄県 +0.9%	沖縄県 -1.7%



人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



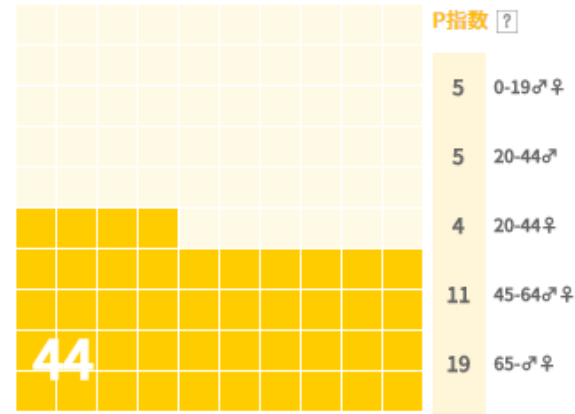
合計 約51,000人

+

なんの対策も
行わない

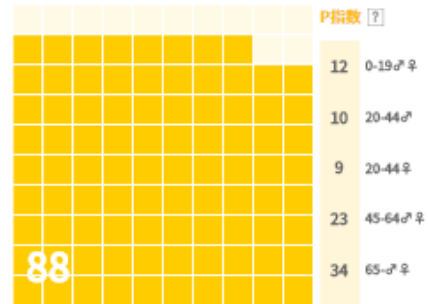
=

2060



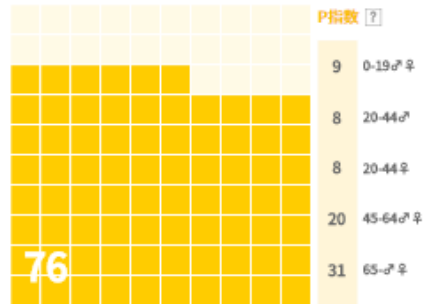
合計 約23,000人

2020



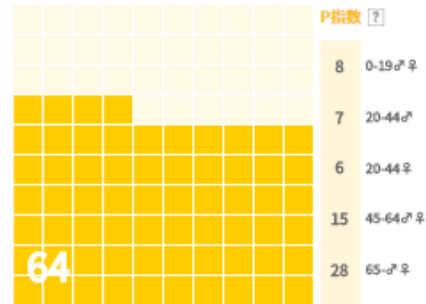
合計 約45,000人

2030



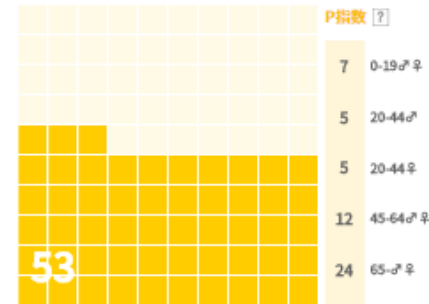
合計 約39,000人

2040



合計 約33,000人

2050

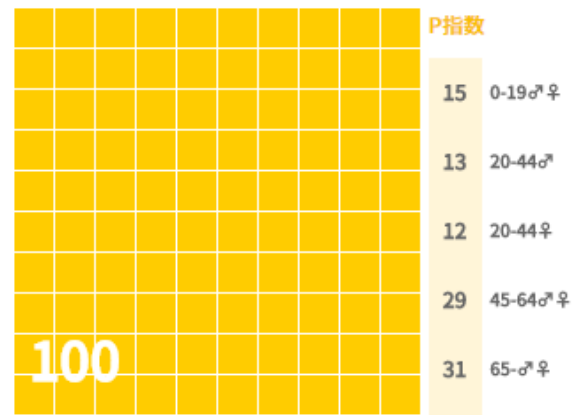


合計 約27,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



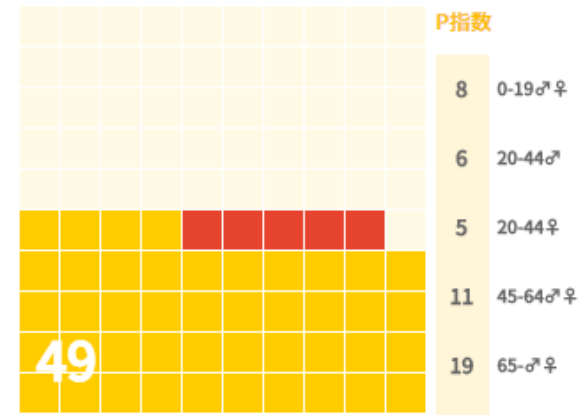
合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → **1.80**



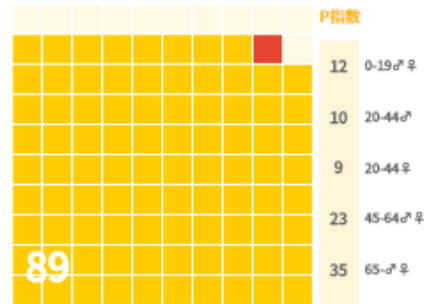
2060



合計 約23,000人 → 25,000人

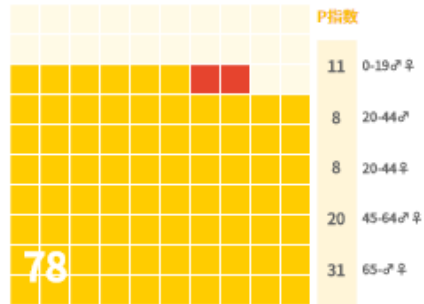
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人のまま

2020



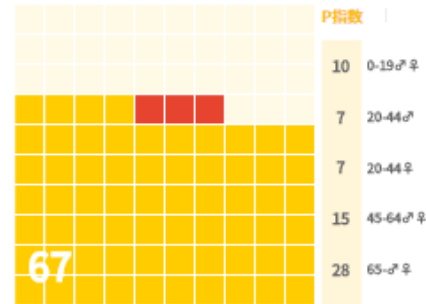
合計 約45,000人 → 45,000人

2030



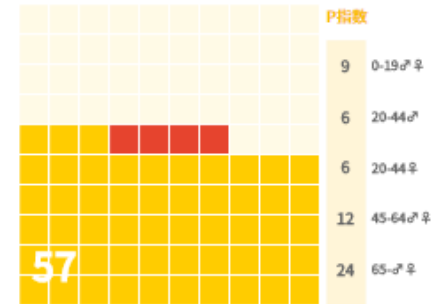
合計 約39,000人 → 40,000人

2040



合計 約33,000人 → 34,000人

2050

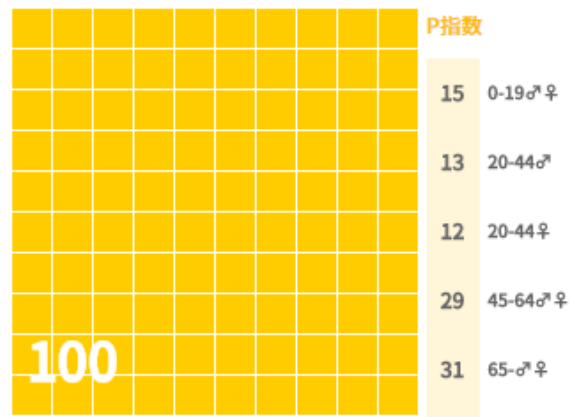


合計 約27,000人 → 29,000人

人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37

にする

転入者数（年間）
102人増やす

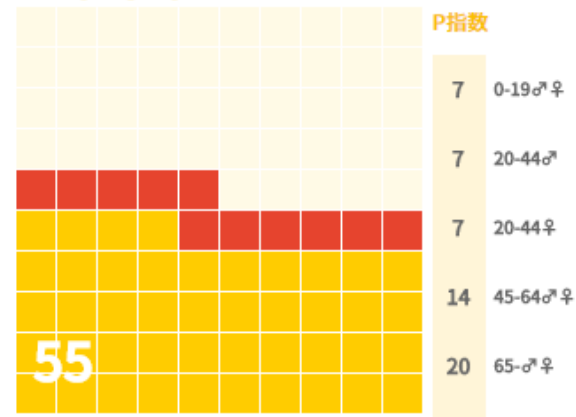
増やす

転出者数（年間）を

0人

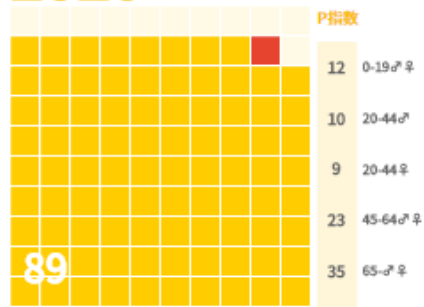
減らす

2060

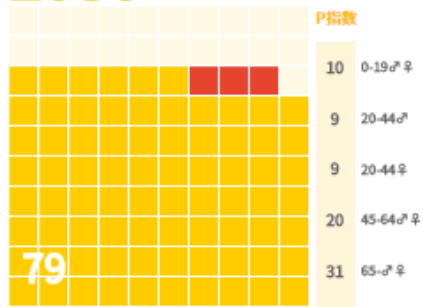


2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37のまま
転入者数(20-49歳)**613人→715に増やす**
転出者数(15-24歳)425人のまま

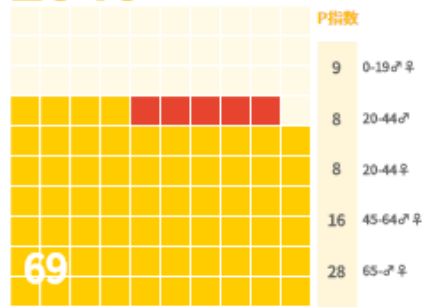
2020



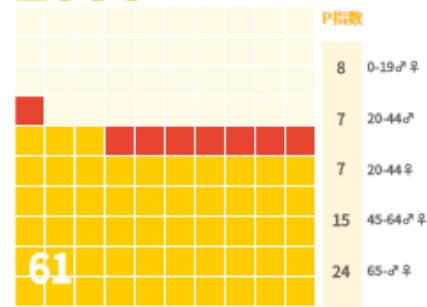
2030



2040



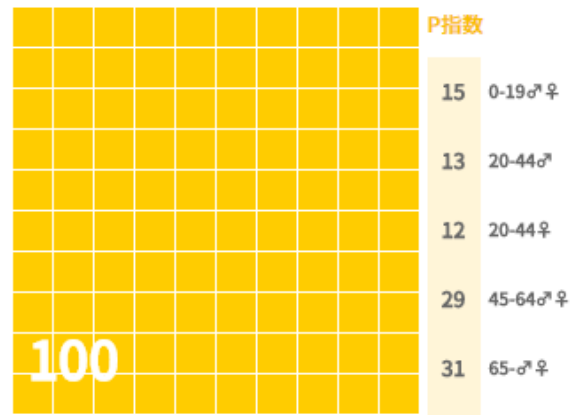
2050



人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



人口減少対策

合計特殊出生率を

1.37

にする

転入者数（年間）を

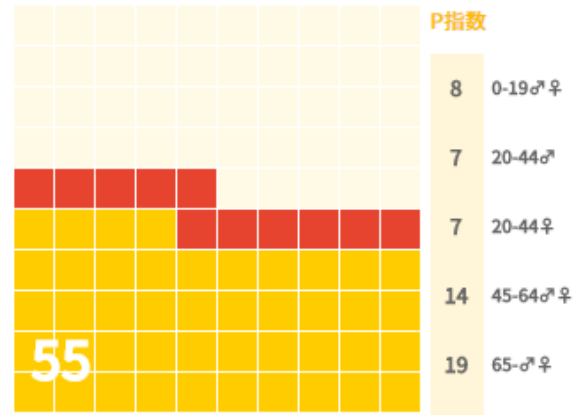
0人

増やす

転出者数（年間）
100人減らす

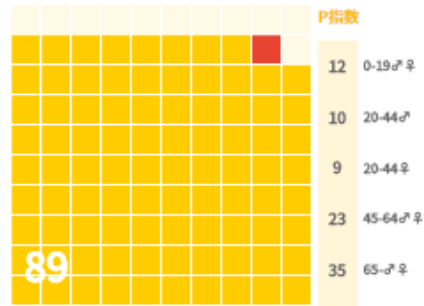
減らす

2060

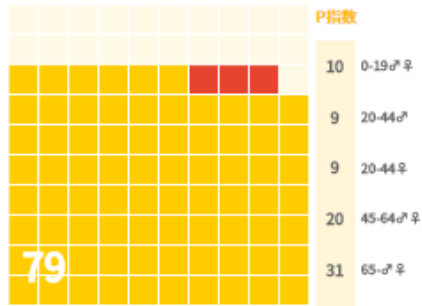


2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から1.80へ
転入者数(20-49歳)613人のまま
転出者数(15-24歳)425人→**325人まで減らす**

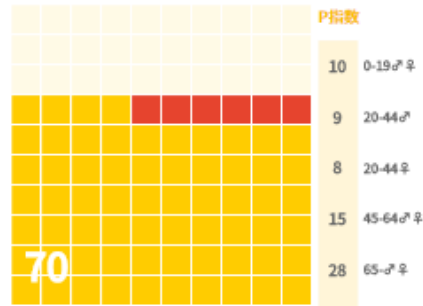
2020



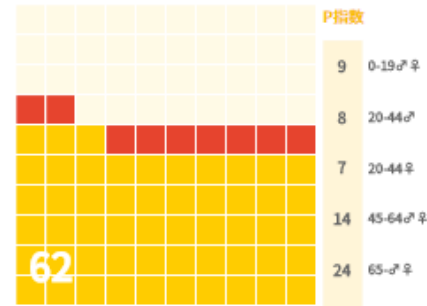
2030



2040



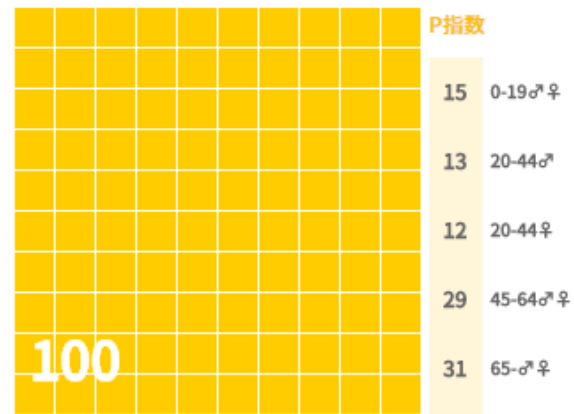
2050



人口減少 × デザイン 富山県 氷見市

地域と日本の大問題を、データとデザイン思考で考える。

2010



合計 約51,000人

人口減少対策

合計特殊出生率
1.37 → **1.80**

にする

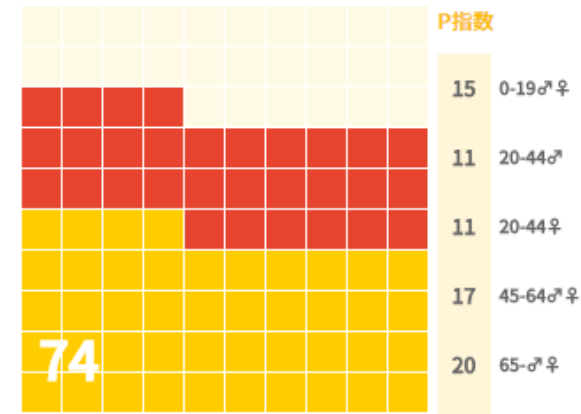
転入者数（年間）
102人増やす

増やす

転出者数（年間）
100人減らす

減らす

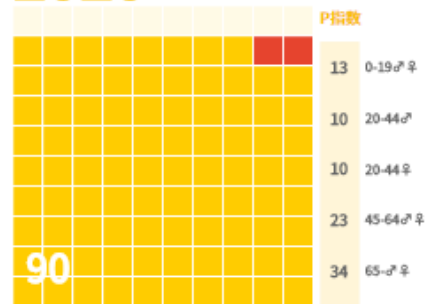
2060



合計 約23,000人 → 38,000人

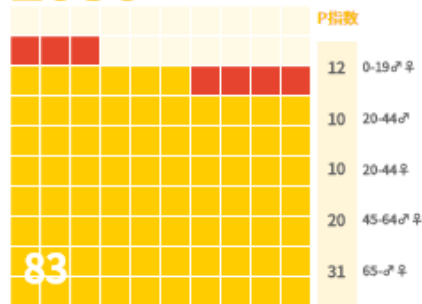
2014年実績値より
合計特殊出生率を1.37から**1.80へ伸ばす**
転入者数（20-49歳）**613人→715に増やす**
転出者数（15-24歳）325人まで減らす

2020



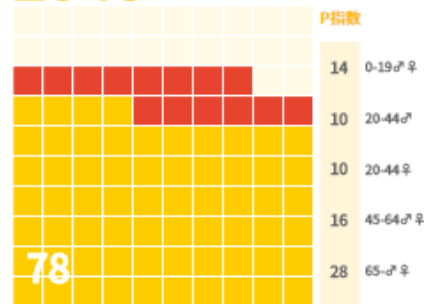
合計 約45,000人 → 46,000人

2030



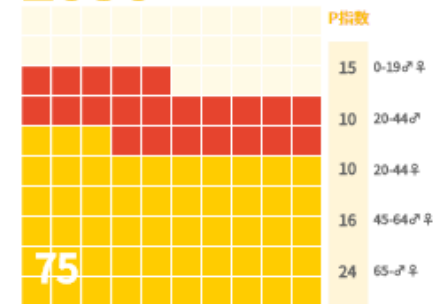
合計 約39,000人 → 42,000人

2040



合計 約33,000人 → 40,000人

2050

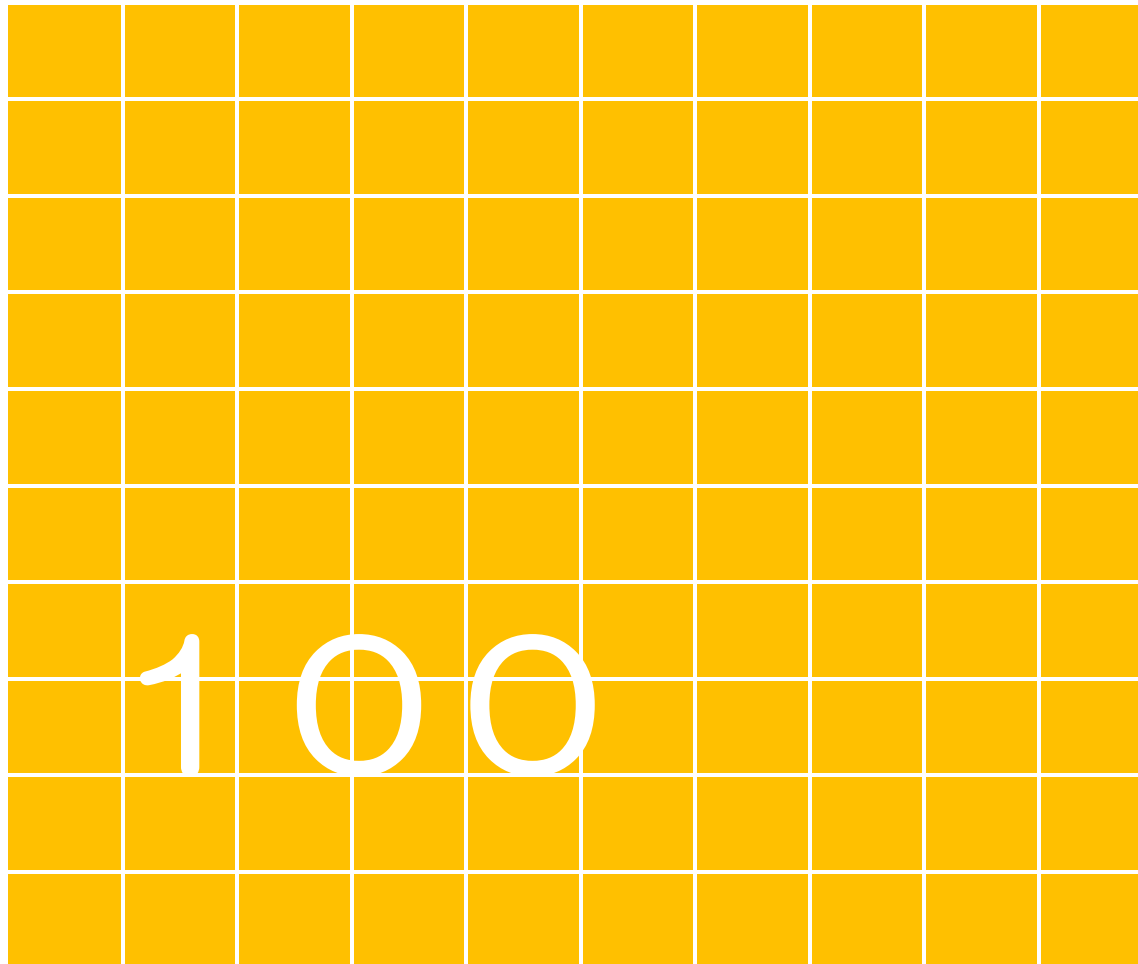


合計 約27,000人 → 38,000人

2010

各地域の2010年の人口を100人とした場合の将来の人口を表したもの。

P指数



5.2

♂ ♀ 0-19

♂ 37人
♀ 30人

24.3

♂ 20-64

♂ 20-39 96人
♂ 40-64 218人

20.3

♀ 20-64

♀ 20-39 87人
♀ 40-64 175人

20.9

♂ 65-

♀ 271人

29.3

♀ 65-

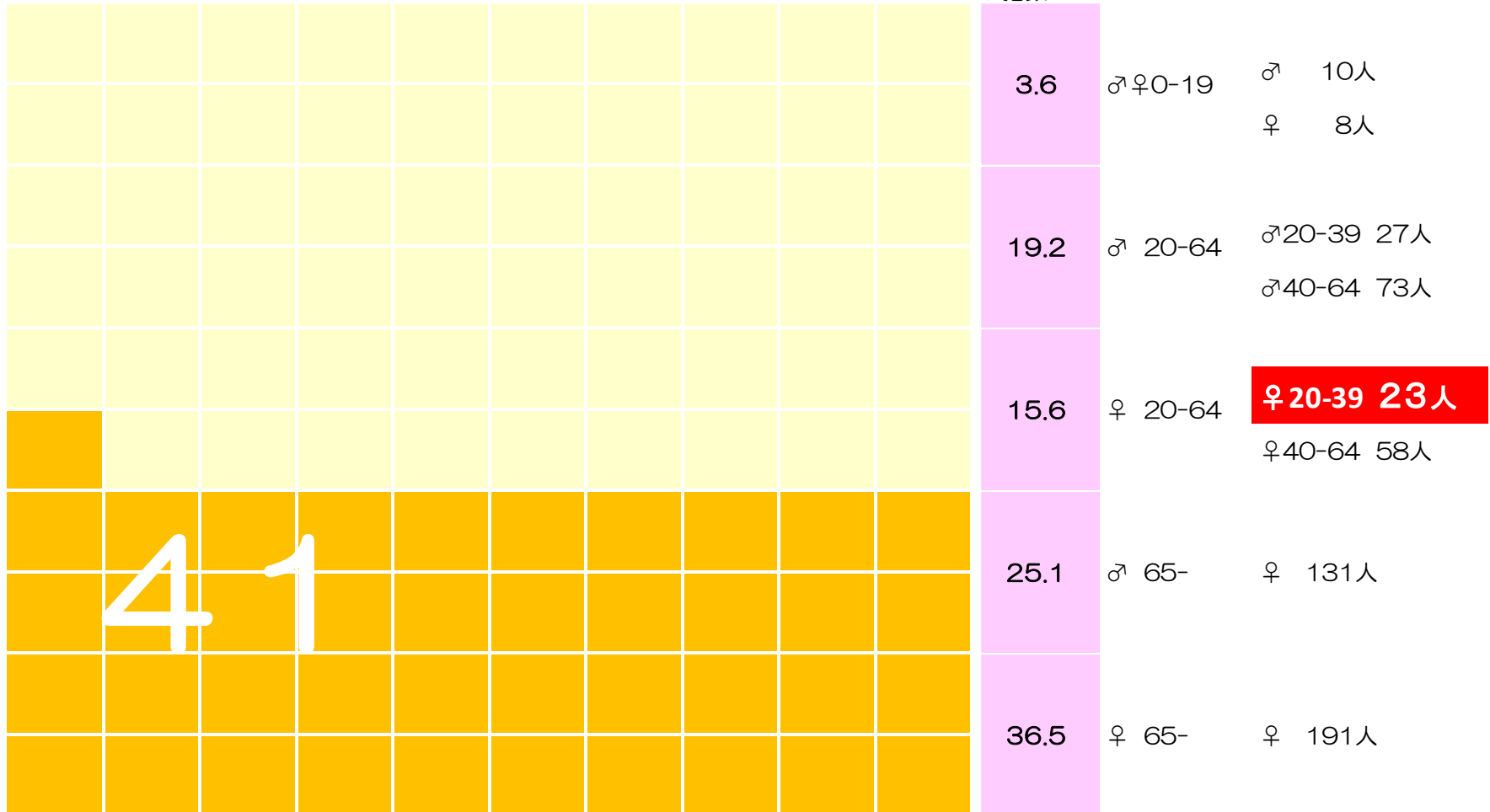
♀ 379人

女良地区 人口1,293人

2060

各地域の2010年の人口を100人とした場合の将来の人口を表したもの。

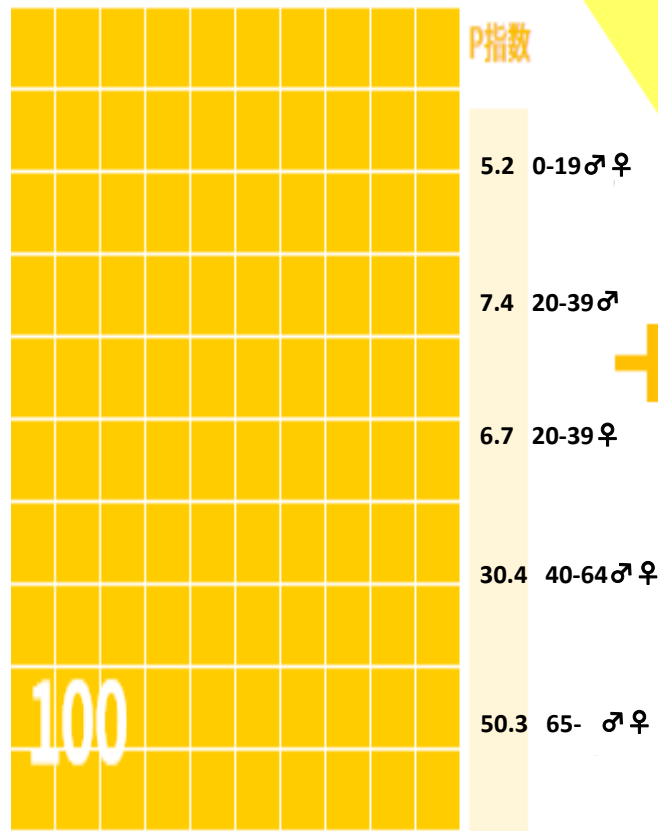
P指数



女良地区 人口521人（推計）

女良地区 人口 1, 2 9 3 人

2010

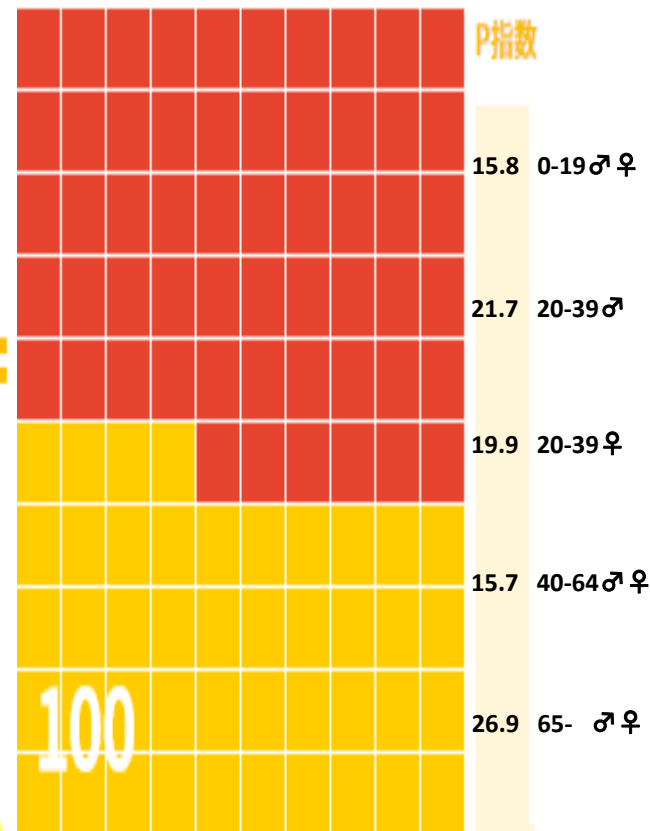


合計特殊出生率
2.1とする

年間転入者数(20-49歳)
4.6人 増やす

年間転出者数(15-24歳)
4.6人 減らす

2060



女良地区 人口 1, 2 9 3 人

地方創生に向けて、皆さんの知恵やご意見を！ 井戸端会議をしてみよう！

- ①4～5人でグループをつくります。
- ②各グループに市職員が入り、皆さまのご意見を記録します。
- ③いただいたご意見は全体で共有し、今後、地方創生総合戦略を策定する際の参考意見とさせていただきます。

Q1. この地区へ、20～49歳の転入者を毎年4. 6人増やすために、どんなことをすればよいでしょうか。

Q2. この地区から、15～24歳の転出者を毎年4. 6人減らすために、どんなことをすればよいでしょうか。

意見交換

